名桜大学開学30周年・公立大学法人化15周年記念シンポジウム

沖縄観光を支える人材をどう育てるか

基調講演

観光を取り巻く大きな環境変化と求められる人材の二極化

「観光先進国を目指す
初めての観光教育シンポジウム」

「実社会から
高大・小中と一貫した
観光人材を沖縄の地で
育むために」

「ジャングリア・沖縄の
DMO・名桜大学が
育成する高度観光人材から、
地元小中・高校が担う基礎観光人材までの
ストラテジーを考える」

【講 師】
森下 晶美 氏
東洋大学国際観光学部　教授

シンポジウム

沖縄から日本の未来をつくるジャングリア沖縄の挑戦

シンポジスト **佐藤 大介** 氏［株式会社ジャパンエンターテイメント 取締役副社長 事業開発本部長］

地域の観光産業を支える人材像

シンポジスト **前田 裕子** 氏［公益財団法人名護市観光協会　理事長］

名護商工高等学校 地域産業科 観光類型の授業での取り組み

シンポジスト **山端　恒** 氏
［沖縄県立名護商工高等学校 教頭］

シンポジスト **島袋 美礼** 氏
［沖縄県立名護商工高等学校 地域産業科 教諭］

沖縄の小中学生にいまこそ必要な観光題材の学びを

シンポジスト **寺本　潔** 氏［名桜大学国際学部　特任教授］

2026.2/14(土) 13:00～17:30

名桜大学学生会館サクラウム3階（大講義室B）

■主催：名桜大学環太平洋地域文化研究所、名桜大学国際学部国際観光産業学科
■後援：名桜大学開学30周年・公立大学法人化15周年記念事業実施本部、日本観光ホスピタリティ教育学会
日本地理教育学会、公益社団法人日本観光振興協会

事前申込不要　参加費無料　途中入退室可

30th ANNIVERSARY 名桜大学 OKINAWA

■問い合わせ先／名桜大学環太平洋地域文化研究所　〒905-8585　沖縄県名護市字為又1220番地の1　TEL：0980-51-1107

名桜大学開学30周年・公立大学法人化15周年記念シンポジウム

「沖縄観光を支える人材をどう育てるか」

プログラム

■13:00～13:20　開会の挨拶　**金城 亮**　［名桜大学国際学部　国際観光産業学科長］

■13:20～14:30　基調講演「**観光を取り巻く大きな環境変化と求められる人材の二極化**」

講師：**森下 晶美**［東洋大学国際観光学部　教授］

デジタル化の進展やインバウンドの増加など、観光を取り巻く環境と市場は大きく変わりました。特にコロナ禍を経て、観光ビジネスは観光産業以外の業種の存在が大きくなりつつあり、それに伴い観光に携わる人材に求められる力と質も大きく変化しています。この講演では、現在そしてこれから必要とされる観光人材の姿と人材教育の在り方を考えます。

プロフィール：法政大学大学院修了。近畿日本ツーリスト㈱、海外ツアーオペレーターなどを経て、東洋大学着任、2016年より現職。2016～17年国土交通省観光庁出向（観光産業課課長補佐。観光人材育成担当）。専門は観光マーケティング、商品企画。近年は観光の高付加価値化、観光人材などを研究中。委員歴として、観光庁「若者アウトバウンド活性化検討会」座長、観光庁「新たな旅のスタイルに関する検討会」座長など。

■14:40～14:45　シンポジウム開催・趣旨説明　司会　**大谷 健太郎**　［名桜大学国際学部国際観光産業学科　教授］

■14:45～15:00「**ジャングリア沖縄長期インターンシップ成果報告**」

名桜大学生2名［紹介：**林 優子** 名桜大学副学長（地域創生担当）］

■15:10～15:30「**沖縄から日本の未来をつくるジャングリア沖縄の挑戦**」

シンポジスト：**佐藤 大介**［株式会社ジャパンエンターテイメント　取締役副社長事業開発本部長
株式会社刀　エグゼクティブ・ディレクター］

ジャングリア沖縄は「沖縄から日本の未来をつくる」ことをミッションに掲げ、「変化の起点」として挑戦を続けています。単なるテーマパークの開業にとどまらず、沖縄の振興はもちろん、日本の観光全体が抱える課題に対し、新しい解決策を提示し、日本を元気にしていくことを目指しています。講演では、ジャングリア沖縄のターゲット・コンセプト・施設の紹介に加え、観光分野の主要課題である

・ブランド力の向上　・交通利便性の改善　・観光人材の育成　・地域の稼ぐ力の強化

といったテーマに対し、ジャングリア沖縄がどのような取り組みを進めているのかを具体的にお話しします。

プロフィール：1999年三井物産入社後、人事部や交通プロジェクト部、ニューヨーク駐在を経て、2004年に星野リゾートへ転職。青森の温泉旅館（現：星野リゾート青森屋・奥入瀬渓流ホテル）の再生を主導し、短期間でV字回復を達成。2010年から星野リゾート トマムの責任者としてプロダクト改革やインバウンド強化を推進し、北海道を代表するリゾートへ成長させる。2015年取締役就任後、マーケティングや海外運営を統括。株式会社刀の代表森岡毅の志と刀の組織風土に強く共感し 2019年より刀の一員に加わる。㈱ジャパンエンターテイメントにおいて JUNGLIA OKINAWA の開業に向けて地元地域や自治体、パートナー企業、教育機関らとの連携を推進。

■15:30～15:50「**地域の観光産業を支える人材像**」

シンポジスト：**前田 裕子**［公益財団法人名護市観光協会　理事長］

観光産業はすそ野が広く多様な産業に経済効果を生むと同時に活力ある地域経済の要となる。それを動かすのは人。観光を通じて地域の豊かさを創出できる人材。温かなホスピタリティを基本に、広い視野と企画・発信力で、観光を通じて地域に新たな価値と持続的な収益を生み出す人材が求められる。

プロフィール：東京の短大卒業後、都内のホテルに入社。帰沖後、1993年（有）前田産業へ入社。宿泊課、管理部を経て 2006年（株）前田産業代表取締役社長へ就任。「ちむぐくるでおもてなし」をモットーにホテルを県内５施設、本部町に１商業施設を運営している。現在は（株）前田産業ホテルズ取締役会長として、大所高所から運営を見守る。また、名護市観光協会（理事）として 2008年６月から現在に至るまで、名護市の観光振興に携わる。2016年から理事長へ就任、公益法人として観光産業の振興と活性化を図り、もって地域社会の健全な発展を目的に事業を展開。

■15:50～16:10「**名護商工高等学校 地域産業科 観光類型の授業での取り組み**」

山端 恒

島袋 美礼

シンポジスト：**山端 恒**［沖縄県立名護商工高等学校　教頭］

シンポジスト：**島袋 美礼**［沖縄県立名護商工高等学校　地域産業科　教諭］

名護商工高等学校 地域産業科 観光類型の授業で取り組んでいる実践内容（小中学生に向けた地域ガイド実習、外国人留学生との国際交流）を紹介いたします。

山端　恒プロフィール：2024年４月に名護商工高等学校へ赴任、前年度より地域産業科観光類型の取組みについて、サポートにあたっている。
島袋美礼プロフィール：2023年４月に名護商工高等学校へ赴任、本年度より地域産業科観光類型の授業に携わる。

■16:10～16:30「**沖縄の小中学生にいまこそ必要な観光題材の学びを**」

シンポジスト：**寺本 潔**［名桜大学国際学部国際観光産業学科　特任教授］

職業意識が芽生え始める小学生高学年から中学生にかけて、観光題材を通した学びの必要性を主張したい。寺本が過去数年間、各地の学校や自治体で展開してきた観光の出前授業で開発できた教材や指導法を紹介するとともに、これからの沖縄の子どもたちに身に付けてほしい資質や能力について具体例を交えて提案いたします。

プロフィール：熊本大学卒、筑波大学大学院修了。同大学附属小学校教諭を経て愛知教育大学・玉川大学・東京成徳大学勤務を経て 2024年度より名桜大学特任教授として勤務。専門は社会科教育、観光教育。文科省中央教育審議会専門委員や学習指導要領作成協力者なども歴任。現在、（公社）日本観光振興協会人材育成委員会副委員長も兼務している。主著に『観光教育への招待』ミネルヴァ書房、『観光市民のつくり方』日本橋出版などがある。

■16:30～17:10　質疑応答・パネルディスカッション

■17:15　閉会の挨拶　**嘉納 英明**　［名桜大学　国際学部長］